

日本私学教育研究所
委託研究報告書 発表
2012年3月10日 東京

授業力・担任力を高める 小中高合同勉強会の実践



聖母被昇天学院中学校高等学校
岡本 弘之
okamoto@assumption.ed.jp

0. 聖母被昇天学院について



- ・大阪府北部箕面市
- ・カトリックの女子校
- ・幼稚園～高校まで併設
- ・学年2クラスの小規模校

1. はじめに

<背景>

- ・若手教員の増加
- ・授業力・担任力の向上
- ・小中高共通の課題の増加



<実践>

- ・小中高合同で自主勉強会の立ち上げ

2. 研究の方法 3. 目的

<方法>

今年度も小中高合同自主勉強会を実施



<目的>

- ・若手教員の育成
- ・授業力・担任力向上
- ・小中高の連携の強化

4. 実践

勉強会の概要

大テーマ：前半を「授業力向上」、後半を「担任力向上」として
月に1回のペースで実施

2011年度実施テーマ一覧

日時	テーマおよび内容	人
5/6	小学校・中highでICTを活用した模擬授業＋意見交換	8
6/18	理科の模擬授業＋実習生座談会「印象に残る授業」	15
7/28	小学校・中学の国語の模擬授業＋意見交換会	18
9/16	小学校外国語の授業＋実習生座談会「印象に残る授業」	16
11/11	小学校・中highの人権教育の模擬授業＋意見交換会	8
12/6	カウンセラーを招いての事例研究	11
3/2	自ら主体的に学ぶ児童生徒を作るには？＋意見交換	5

勉強会の構成



前半(45分)

時間の前半は模擬授業または事例発表を、小学校・中高校から各一人してもらいます(写真は第4回の様子)

後半(45分)

前半の授業・発表をもとに、輪になって意見交換を行います。(写真は実習生を招いた第2回)



勉強会の記録 (第3回)

<第一部 模擬授業の記録>

- 中高1先生「中学3年国語 詩を味わう」
- ・長田弘の詩「最初の質問」の模擬授業。作者が言いたいことを考えさせる授業。
- 小学校1先生「小学校1年国語 音読を軸にのびた授業」
- ・1学期最後に学習する読み物の「おきなから」の模擬授業。音読で表現させる授業。

同じ教科を小中で比べる

- ・詩の鑑賞や音読でも、繰り返しの音などの響きがおもしろく、感覚的にもおもしろい
- ・興味関心を持たせるには長めの時間配分が必要、丁寧に指導を行う大切さを感じた
- ◎小学校1先生の授業について
- ・音読は脳の活性化につながるし、繰り返し読むことで児童は話を覚えてくる
- ・わからない言葉について、小学校では辞書をこまめに引かせるようにしている
- ・中学の国語の授業でも音読は好き

<第三部：意見交換「児童生徒に必要な力は何か」> (略)

勉強会の記録 (第5回)

<第一部：模擬授業>

- 中高 Y先生「中学1年の人権教育 どのように伝えればいいのか?」
- ・ある場面でのようにいえないかをロールプレイさせるHR
- ・自己中心的・意見を言えない・思いやりながら意見を言うという三つのタイプ
- 小学校 M先生「小学生の人権教育 聞くことの大切さを感じよう!」
- ・二人づつペアになり、1回目はひたすら無視、2回目はしっかりと聞いてあげる経験。
- ・この二つの体験を通じて話し手・聞き手の両方の気持ちを変えました。

<第二部：意見交換・経験心話>

- ◎ **小中で共有できる実践!**
- ・ 聞き手への気遣いが大切だと思いました、シヤイハイワリガズンゴゼシガハ
- ◎ 次の授業について
- ・ 小学生でも中学生でも体験させることで気づくことがある
- ・ 保護者にもやってみたい・聞く姿勢が弱いと言葉少なくなる児童生徒が多いので
- ◎ その他の意見交換
- ・ お友達・姉妹のような親子関係も増えてきた?じっくり聞いてあげる姿勢が必要

勉強会実施後の共有

- ・ 勉強会の内容の共有と宣伝のため、大まかな内容を書いた報告書(右図)を作成し、小中高教職員全員に配布した。

第2回勉強会報告



5. 評価

2010年度末の中間アンケートより



教員アンケート結果①

◎勉強会で参考になった点(複数回答)

- ・ 意見交換の意見が参考になる 13
- ・ 他の学校種の授業内容がわかる 7
- ・ 他の学校種の授業方法技術がわかる 7
- ・ 模擬授業が参考になった 6

◎勉強会への要望(自由記述)

- ・ 小中学校教員の交流としてもよい企画(複数)
- ・ 授業スキル・担任スキルの向上をめざしたい
- ・ 小中学校の教科のつながりが分かる
- ・ 他教科の先生の意見は参考になる
- ・ 小や他教科の内容が分かり、教科指導の参考になった

(2010.7.29 中間アンケート 回答13通)

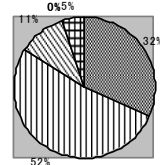
教員アンケート結果②

質問項目	大変困る	困る	あまり思わない	全然思わない	わからない	無回答
模擬授業を見ることで他の先生の工夫がわかった	6	10	0	0	2	1
意見交換会での他の先生の内容が参考になった	8	10	0	0	0	1
実践報告・事例報告が担任の仕事の参考になった	3	10	2	0	2	2
他の学校種で教えている教育内容がわかって参考になる	8	5	3	0	1	2
ほかの学校種の授業の方法や工夫がわかって参考になる	6	10	2	0	0	1
同じ学校種のほかの先生の授業担任術が参考になった	5	11	1	0	0	2
学校種が違えど、共通する部分が多く参考になった	6	9	1	0	0	3
勉強会ことに報告を配布しましたが参考になりましたか	9	9	1	0	0	0

2011.2.3実施 回答19通（小9名 中高10名）

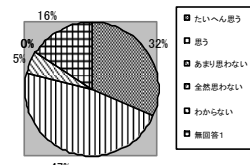
教員アンケート③

他の学校種の授業の方法や工夫がわかって参考になる



違いが参考になる

学校種が違えど、共通する部分が多く参考になる



共通する課題

6. 考察とまとめ

課題

- ①教科の教え方・専門性をふまえた議論は不十分
→教科の研修との併存必要
- ②「経験知」「実践知」が中心であり、専門的知識についての学びも必要
→ヨコだけでなくタテの研修

効果

- ①授業力・担任力の向上に貢献できた
 - ・お互いの学校種の教育内容を知れた
 - ・お互いの学校種の方法・技術が知れた
 - ・小学校は中高の教科の専門性が参考に
- ②若手教員の育成
 - ・意見交換で出た意見・経験が参考に
- ③小中高の連携
 - ・教員のつながり＋教科内容のつながり